

2025年度
第2回 理事会議事録

2025年 6月 13日

一般社団法人 全国鐵構工業協会

2025年度 第2回理事会議事録

1. 日 時 2025年6月13日（金） 11:30～13:30

2. 場 所 鉄鋼会館 704号室

3. 構 成 員 14名

4. 出席構成員 14名（別紙 出席者名簿参照）

5. 議事次第

- (1) 開会の辞
- (2) 定足数確認報告（定款第36条）
- (3) 会長挨拶
- (4) 前回理事会議事録の確認
- (5) 審議事項
第1号議案 第58回通常総会 議案書確認の件
- (6) 報告事項
 - 1) 本日のスケジュール及び総会等の運営要領確認の件
 - 2) 委員会等活動状況報告
 - ① 運営委員会
 - ② 人づくり研修（募集関連情報）について
 - ③ 外部団体との意見交換会対応WG
 - ④ 一次加工品質管理WG
 - 3) 特定技能外国人材関連情報について
 - 4) その他
- (7) その他の定例報告事項
 - 1) 構成員登録状況
 - 2) 着工面積と推計鉄骨需要量
 - 3) 2025年度主要会議日程
 - 4) 支部報告
- (8) 閉会の辞

6. 議事要旨

(1) 開会の辞

進行役の小貫専務理事より開会する旨が告げられた。

(2) 定足数確認報告

小貫専務理事より、本理事会は 14 名すべての理事が出席されており、定款第 36 条（理事会の定足数）に基づく成立要件となる定足数が満たされていること、また、監事も 2 名全員に出席いただいていることが報告された。

(3) 会長挨拶

永井会長より「本日は総会ということで終日の対応になりますが、よろしくお祈りします。今日以降、任期 2 年の後半になりますが、様々な課題がある中、皆さんと協力しながら一緒に頑張っていきたいと考えていますので、引き続きよろしくお祈りします。」との挨拶があった。

(4) 前回理事会議事録の確認

小貫専務理事が、2025 年度第 1 回理事会の要点を読み上げ、確認了承された。

(5) 審議事項

第 1 号議案：第 58 回通常総会 議案書確認の件

第 58 回通常総会の議案書に関し、第 1 回理事会(5 月 21 日開催)で説明し了承された内容から変更がないことが小貫専務理事より説明され、本議案書にしたがって総会を進めることが確認された。

本案に対する意見、質問等はなく、原案通り承認された。

(6) 報告事項

1) 本日のスケジュール及び総会等の運営要領確認の件

本日のスケジュール及び総会等の運営要領について、議案書[理 25-2-報 1]〈p4-8〉にそって説明され、確認が行われた。

2) 委員会等活動状況報告

① 運営委員会 及び ②人づくり研修（募集関連情報）について

運営委員会及び人づくり研修について、議案書 (p9-14) に沿って、妹尾委員長より、以下の内容が説明され確認された。

- ・運営委員会の分科会 1 から分科会 4 までの各活動進捗が報告された。
- ・分科会 4 で担当している「人づくり研修」について、開催案内、講師対応、開催日程等について報告された。
- ・2025 年度の「業界動向調査」については、「図面問題の使用状況調査」を組み込んだ形で最終形を検討中。次回 7 月の理事会で確認後、アンケートを

構成員に発信予定。今回も昨年同様、70%以上の回収率を目標としており、あらためて協力要請があった。

③ 外部団体との意見交換会対応 WG

外部団体との意見交換会対応 WG について、議案書 (p15-16) に沿って、登尾リーダーから説明され、確認された。

- ・各地域から集まった調査結果に基づき今後の展開について検討を実施した。
- ・調査の中で、様々な事例情報が収集出来たので、今後は情報の有効な活用方法について WG で検討を進めていくこととした。

④ 一次加工品質管理 WG

一次加工品質管理 WG について議案書 (p17-18) に沿って、岩永リーダーから説明され、確認された。

- ・品質の基準となる標準書については、第一段階と言える所まで進んで来た。
- ・次の段階として、一次加工業者へのヒアリングを行う予定。ヒアリングの実施方法として、標準要領書と一次加工のアンケート結果情報を参考にヒアリング書式を作成している。
- ・出来上がった書式を使って、今後一次加工業者へのヒアリングを開始したい。学識者のご意見、一次加工業者の反応等の情報を収集しつつ、今後の進め方を見極めたい。
- ・機械メーカーへのヒアリングについても、事務局を中心に進める予定。

3) 特定技能外国人材関連情報について

特定技能外国制度における工業製品製造業分野の新しい民間団体設立に伴う手続きについて、資料に沿って説明が行われた。

- ・今後特定技能人材の受入れを実施する事業者は、現状の「協議・連絡会」への加入有無に関わらず、新団体への入会が必要。
- ・新団体への入会手続きは、7月1日から開始予定。
- ・現在「協議・連絡会」に加入している事業者に対しては、「協議・連絡会」から、詳細情報が発信される予定。

4) その他

- ・各都道府県青年部への助成金について、例年通り実施予定であることが説明された。

(7) その他の定例報告事項

1) 構成員登録状況

本日現在の構成員数は、前回報告時(5月21日)より16社増加し、2,133社であること等が、議案書(p21-25)により報告された。

2) 着工面積と推計鉄骨需要量

2024年度の鉄骨推定所要量は、365.5万トン、前年比93.5%となった。

3) 2025年度主要会議日程

主要会議日程が、議案書(p27)により確認された。

4) 支部報告

〔北海道〕

- ・状況に大きな変化はないが、再来年あたりの大型案件の情報が出てきている。一方、相変わらず中小の案件は少なく、稼働率も低い状態が継続。物件の遅延情報も多い。

〔東北〕

- ・他地域同様、仕事は非常に少なく稼働率も低い。仕事がある所も一部あり、二極化という状況もある。かなり先ではあるが、案件の情報も聞こえてきているが、情報共有をしながら何とか凌いでいきたい。

〔関東〕

- ・仕事は少ないが、持っている所とそうでない所で二極化している状況。今後に向けては、不透明で先が見えない状況。

〔北陸〕

- ・厳しい状況に変化はないが、北陸3県で連携して、価格維持に努めている。相変わらず、凶面承認、工事の遅延、予定の変更等に関わる問題が発生しており、協力しながら何とか凌いでいきたい。

〔中部〕

- ・見積りが極端に少ない状況、ここ数十年でもここまで少ないことがあったのかというレベル。全国的に厳しい状況の中、近隣地区の商社が出てきて、安い価格を置いていくという様な事も起こっており、価格対応含め十分な注意が必要。今後は、名古屋駅周辺の再開発案件の動きもあり、何とか踏ん張っていきたい。

〔近畿〕

- ・近畿各地域とも仕事が少なく、厳しい状況が継続している。一方、IR関係の工事は動きだしており、今後に向けての明るい兆しと期待している。
- ・仕事はどこも少なく、他地域含め仕事の取り合いが起こっている。

〔中国〕

- ・環境は非常に厳しいが、地方のMグレードレベルの仕事は少ないながらも出ており、何とか凌いでいる状態。
- ・全国的に厳しい状況なので、地域、分野を超えて中国地区にも入ってきている状況がある。

〔四国〕

- ・相変わらず見積りも少なく不安定な状況。
- ・仕事のバラツキ、工期ずれの状態化、価格競争の激化という状況がある。
- ・各県間で連携して凌いでいきたい。

〔九州〕

- ・トランプ関税の影響で、車、半導体に甚大な影響が出ているが、価格的には何とか踏ん張っている状況。但し、商社が絡んだ中小の案件については、価格的にも厳しい状況も発生している。
- ・一方、他地区から九州地区に入ってきて仕事をしている会社が、仕事のやり方の違い等でうまく行っていないとの情報も聞こえてきている。
- ・仕事は少ないながらも、地域で連携して踏ん張っている。

(8) 閉会の辞

以上をもって、審議事項、報告事項等、予定された事項が終了したので、議長は閉会を宣し散会した。

以 上

(別 紙)

出席者名簿

会 長	永 井	毅
副 会 長	大 竹	良 明
〃	板 垣	昌 之
専務理事	小 貫	武
理 事	竹 原	慎 雅
〃	三 浦	隆 宏
〃	安 達	次 雄
〃	前 田	正 美
〃	稲 垣	法 信
〃	佐 野	勝 也
〃	妹 尾	一 人
〃	登 尾	昌 弘
〃	岩 永	洋 尚
理 事(相談役)	米 森	昭 夫
監 事	村 上	眞 樹
〃	吉 岡	晋 吾

理事総数	14名	うち出席者	14名
監事総数	2名	うち出席者	2名